



北六甲台&上山口東の住宅街

第112号
令和2年10月15日

西宮市北六甲台地区
社会福祉協議会
会長 日高 昭夫

●発行/北六甲台地区社協●発行日/偶数月●編集/北六甲台地区社協広報部●配布エリア/北六甲台・上山口東

整ってきた地域包括ケアの医療介護の環境

四年前に地域で初めての在宅医である「おかざきクリニク」が開院し、今年七月には、「認知症グループホーム・アクア西宮」が開設され、更に九月には訪問診療も手掛けられる「三木医院」が開院されました。私たちの町にお二人の在宅医と認知症グループホーム一施設が整うという在宅医療や認知症ケアといった地域包括ケアにとって恵まれた環境が整いました。

北六甲台 三木医院の開院！

はじめに



九月一日に北六甲台の金山診療所跡に三木医院が開院されました。早速、医院をお訪ねし三木宏文先生に取材させて頂きました。

経歴

三木先生は一九九二年県立奈良医科大学を卒業後、大阪大学大学院へ進み二〇〇三年医学博士号を取得されました。



現在自宅から三〇分程の通い診療のため、二四時間体制が無理なため在宅医療診療所としての対応はできないが、今後月二回程度、曜日と時間を決めて

訪問診療

現在自宅から三〇分程の通い診療のため、二四時間体制が無理なため在宅医療診療所としての対応はできないが、今後月二回程度、曜日と時間を決めて

て訪問診療したいと考えているとのこと。患者さんの看取りに当たっては家族を含めた前段階での日常の話し合いと納得のいくコミュニケーションが必要で難しい判

グループホームアクア西宮山口の開院！

はじめに



あすなろクリニックの岡崎先生から七月一日開設の認知症グループホームの理事長・木村紀久先生を紹介頂きました。その縁で川西市の開業医でもある理事長に七月五日の福祉ネット総会後の交流会に参加してもらいました。その際、ホーム見学の了承を得て、翌日訪問しました。

施設紹介

山口中学北側の真新しいホームを訪ねました。理事長から事前に訪問を告げられていた施設長に迎えられ、施設内を案内しても

断が含まれているので都度ご相談くださいとのコメントを頂きました。まごめ 三木先生、お忙しい中、インタビューにお答え頂いて有難うございます。北六甲台地区住民にとって頼もしいクリニックが開院されました。(広報部・小出記)

地域との連携

施設長の丁寧な説明を受けた後、この街でのこのホームの継続充実を願っており、地域住民組織としても可能な限り連携していきたい旨、お伝えしてホームを辞去しました。



あすなろクリニックの再開

休院中だった上山口三丁目のおかざきクリニックが「山口町あすなろクリニック」として今年二月に再開されました。コロナ等の発熱外来も積極的に診察頂けます。(社協・日高記)

敬老お祝い訪問

思いやりのある住みやすい街づくり

高齢者福祉部長 築紫豊



敬老の日は、昭和二十二年に「お年寄りを大切にし、お年寄りの知恵を生かした村作りをしよう」と、兵庫県のほぼ中央に位置する現在の多可町で、「としよりの日」とし生まれたのが全国に広がり、その後「敬老の日」と

なったと言われています。

WHOでは六五歳以上が高齢者と規定され、日本でも六五歳以上を高齢者としています。しかし超高齢社会を迎え高齢者の定義を、七五歳以上とする変更が検討されているそうです。

今年も地区社協は、七五歳以上(八月一日現在)の方を対象に敬老お祝い訪問を行いました。二十七名の社協スタッフが丁目別地図を片手に、社協の目印として馴染んできた赤いベストを着てお祝いの品をお届けし、近況などをお伺いしました。

ご本人が出てこられ、お元気な様子を伺いますと良かったなあと思えました。また、お家の方が出てこられてご本人は施設や病院に入り、このコロナ禍の中で面接もガラス越しにしか会えないなどの、お話しをお伺いしますと大変だなあと思いがら訪問でしたが、皆さんに喜んで頂いており、今後も引き続きこの訪問活動を行っていくことが、「思いやりのある住みやすい街づくり」に近づくのかなと思います。

丁目別責任者の訪問記

一丁目

ワニさんの報告何かな

昨年に引き続き出会えた方々、今年初めて訪問させて頂いた方々のお顔を思い浮かべながら、書いてます。

空も皆さんをお祝っているかのように、晴れています。気持ちよく対応頂き、少しでも触れ合う時間を持つことができて感謝です。笑顔に元気を貰いました！話しが弾んで迷惑をかけてしまったと思えます。以後気を付けます。懲りずに来年もお相手



をして下さい。楽しみにしています。

我が家の今月のカレンダーは立った「ワニさん」がサルに報告している構図です。(以前は「サル」をカエルと思ってました。しっぽに気が付かなくて) 私は時折り、寝る前にこの「ワニさん」に語りかけます。「ねえ、ワニさん」今日は何報告しているの?」想像します。そして今日も……。ステキに一日でした。

二丁目

マスク越しの挨拶

爽やかな秋晴れの下、敬老お祝い訪問で二丁目の皆さまのお宅にお伺い



しました。コロナ禍で外出の機会も少なくなり、皆さまがどのように過ごされているのか心配していただのですが、お変わりなくお元気な様子の方がほとんどで、嬉しくなりました。「地区社協の鈴木です」とお伝えすると、小脇に財布を挟んで出てこられ「あら、集金かと思っちゃわー!」「いえいえ、今日は赤飯をお届けに来ました」と、顔を見合せて笑ってしまったり、…とても楽しいひとときでした。

てお話しする事ができ、敬老お祝い訪問の意義を実感しました。

三丁目

動けない方への対応



訪問協力
のなさを感
じました。

九月二二日の祝日に向けて、今年もお祝い訪問を実施することになり、昨年訪問を断られた方で、今年お受けする気持ちがないかお尋ねしました。今回の訪問で、足が弱く玄関先へ出られない方へ、息子さんが代理で受け取りご本人へお渡しすること、了解されました。この活動は単にお祝いの品物を渡すのが目的ではなく、寄り添い見守り活動の一環であり、高齢者二人だけの世帯で足が弱く対応できなく断られた方がいて、そういう世帯の方こそ、一番定例訪問して元氣であることを確認したいのですが、私の意思が伝わらず力のなさを感じました。

者からの情報で、今回の訪問月の九月に亡くなられた方がおられて、ご仏前へのお供えをお願いしたところ、お受け取りになられたそうです。皆さん、好意的に対応して頂き、ご家族のことも話しが弾んだと報告を受けました。協力者の皆さんご苦労様でした。

四丁目

お会いできて有難う

今年、新型コロナウィルス感染予防の為、色々な企画の行事が中止される中、高齢者福祉部の活動として七五歳以上の皆さまを訪問し、敬老お祝いの品をお届けすることにより、皆さま方の生のお声を聞ける機会を頂きました。以前は、「敬老の集い」のイベントでしたが、三年前から現在の活動になり、皆さま方にも周知されてきたのか、インタビューを押し「敬老お祝い訪問でお伺いしました」とお伝えすると、ステキな笑顔で出迎えて頂き、

「この様なお祝いをしてもらって感謝です」と言われ、お会いする事で元気を頂き、人との出会いに喜びを感じるひとコマでした。来年もお会いできる事を楽しみに！快晴に恵まれた敬老の

五丁目

百歳！おめでとう

日の敬老お祝い訪問です。朝早くから、お騒がせして申しわけ無いなあと思いなながら、九時過ぎから一六軒二三名の方々にお届けしました。デイサービスに通われている方、入院されている方、お会いできなかった方もいましたが、ご本人やご家族の方にお渡ししました。皆さまには感謝のお言葉を頂き、こちらでも嬉しく清々しい気持ちで帰宅しました。また、訪問に協力して頂いた方から、百歳になられた方の情報がありました。ご本人は入院されていますが、ご本人は入院されているとのことで、直接お会いすることはでき



ずに、自宅の娘さんへお届けしたそうです。ご本人へご長寿の秘訣をお聞きしたかったのですが残念です。来年七五歳になられる方、まだ申込みされていない方も是非申込み下さいますようお待ちしております。

上山町

訪問による安否確認

学校体育館を会場として例年開催していた「敬老の集い」に代え、「敬老お祝い訪問」を実施して三年目になります。近くに住んでいても、訪問して初めてお目にか

かる方や、「今日頂いた品物を持って、子供さんが久しぶりに施設に行き、親孝行してくる」とか、「敬老の日と言っても、誰も訪ねて来てくれないのに有難う」と涙ぐまれた方もありました。お祝いをお届けすることによって安否確認にも繋げるこの取組みが、一人でも多くの方に行き渡り、来年も又皆さんの元気なお顔が拝見できることを念じてます。



今年、コロナ禍でボランティア研修は中止となりました。

そこでボランティアの皆さんに、市社協発行の「ボランティア・ハンドブック」をお配りし研修に代えさせて頂きました。抜粋して紹介します。

市社協ボランティアハンドブック抜粋

福祉分野のボランティア活動

高齢者に関わる活動

お話し相手、通院のお手伝い車いす介助、家事援助等

障がい者に関わる活動

手話、要約筆記、音訳、点訳、外出援助、家事援助。

子どもに関わる活動

遊び相手、託児、送迎サポート、学習支援、本の読み聞かせ等

ボランティア活動の心がけ

- ① 無理をしないで活動しましょう
- ② 相手の気持ちに寄り添って活動しましょう
- ③ 相言葉遣いや態度に気をつけましょう
- ④ 責任をもった活動をしましょう
- ⑤ プライバシーは絶対に守りましょう
- ⑥ 宗教・政治活動をもちこむのはやめましょう
- ⑦ 一人で悩まずに相談しましょう
- ⑧ ボランティア保険に加入しましょう

